

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和4年6月9日 ～ 令和5年3月10日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》</p> <p>Ⅲ 都道府県・市町村間の連携に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿夜間中学校連絡協議会、全国夜間中学校研究大会等において、実行委員会等事務局との連携を通じて取組の充実に図る。 <p>Ⅵ その他の夜間中学における教育活動充実にに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について
調査研究のねらい	<p>都道府県・市町村間の連携に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育機会拡充に関する全国的視野を得るため、全国夜間中学校研究大会に参加し、全国の夜間中学・自主夜間中学の多様な取組、教材の指導方法などを学び、自校での教員研修等に生かす。 <p>経済負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市夜間学級では在籍者数は近年減少傾向であるが、義務教育未修了者に加えて入学希望既卒者、外国籍の者等、受け入れる生徒は多様化している。特に外国籍の生徒や高齢の生徒が多く割合を占めている。本調査研究は、そのような生徒たちの学校行事へのさらなる参加率向上をねらいとし、一泊宿泊学習や近畿夜間中学校連絡協議会等の交流会行事に、多くの生徒の参加を促す。生徒たちが交流会行事に参加することで、ともに学んでいる生徒及び他校の生徒との交流を深め、学校生活に充実感を得ることができ、学習意欲の向上につながると思う。 <p>「生徒の学校行事への参加率の向上」のためには、以下のことが生徒の支援になると考えられる。</p> <p>＜外国籍の生徒に対して＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通費負担の軽減 ・土地勘がないため個人で学校外の場所に集合することが困難な生徒への支援 <p>＜高齢の生徒に対して＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通費負担の軽減 ・移動に関する体力的な負担軽減 <p>このようなことを踏まえ、参加率向上に向けた取組として、学校行事の際に貸切バスを利用し、移動に対する経済的な負担、</p>

	<p>体力的な負担の軽減を図るとともに、安心して参加できる環境を整える。</p> <p>また、生徒会が中心となって、学校行事の企画運営を行い、共同作品の作成やレクレーション等の活動を効果的に行う。それにより、普段は関わりの少ない生徒どうしが接したり、楽しさを感じたりすることで、夜間学級での学習に対するモチベーションの向上につなげることも目的とし、アンケートや感想文等により、現生徒への効果検証を行う。並びに、過去の参加者数と比較し、生徒の参加人数の変化などの効果検証を行う。</p>
<p>調査研究の成果</p>	<p>Ⅲ 都道府県・市町村間の連携に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿夜間中学校連絡協議会、全国夜間中学校研究大会等において、実行委員会等事務局との連携を通じて取組の充実を図る。 <p>【11月】全国夜間中学校研究大会への参加</p> <p>大会では、参加者が教科別分科会で「夜間学級の英語教育の実態とICT教育の取り組み」を報告した。</p> <p>校内では、大会冊子を配付したり、生徒の体験発表等を報告したりすることで、全国の実践や夜間中学における課題について広く学ぶことができた。</p> <p>Ⅵ その他の夜間中学における教育活動充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について <p>【7月】事前学習</p> <p>社会科において、地図帳を使って福井県の地理的位置を確認し、特産物や名所についても学習した。</p> <p>【11月】一泊校外学習(福井県方面)</p> <p>9月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、11月に延期した。</p> <p>一泊校外学習の参加率について、平成30年度は11.8%、令和元年度は10.0%であった。令和4年度は24.5%であり、参加率は前回と比べ14.5%増加した。</p> <p>生徒の感想には「一泊校外学習で初めて違うクラスの生徒と話をして仲良くなった。」「それぞれの人生について語り合った。」等とあり、生徒どうしで交流を深めることができ、その後の学校生活の充実感につながっていると考えられる。</p>

また、宿泊した旅館では浴衣を初めて着た生徒がおり、日本の文化に触れることもできた。

【12月】事後学習

一泊校外学習の延期により、予定していた10月の「えんぴつポスター」の作成、11月の学習発表会での発表及び校内掲示をすることができなかった。それにかえて、修学旅行の活動記録として写真を校内掲示することで、次年度以降の生徒の参加率向上を図った。

【2月】連合作品展(八尾市立八尾中学校)

近畿夜間中学校連絡協議会主催の連合作品展への参加率について、平成30年度は8.9%、令和元年度は10.0%であった。令和4年度は12.7%であり、参加率は前回と比べ2.7%増加した。

生徒へのアンケートでは、「他校の展示を見るのは楽しいです。」「様々な作品があって、自分たちも作ってみたい、やってみてみたいという刺激をうけて楽しかった。」等の意見があり、他校の生徒の作品に刺激を受けたことにより、学校生活に新たな目標をもち、さらなる学習意欲の向上につながったと考える。

○委託事業を活用していない行事との参加率の比較検討

行事名	令和4年度の参加率	委託の有無
新入生歓迎集会	13.2%	無
連合運動会	21.6%	無(生徒会費を使用)
一泊校外学習	23.5%	有
連合作品展	12.7%	有

各行事の参加率については表のようになった。一泊校外学習の参加率は他より高かったが、連合作品展については最も低い値となった。しかし、連合作品展については、前回と比べると向上した値となっている。また、連合運動会については、生徒会費を使用したことが高い参加率を得られた要因の一つと考えている。

これらより、行事の参加率は、委託事業等により、特に経

	済的負担軽減があることで高くなる傾向にあるといえる。
--	----------------------------